

施策番号 5-1-2	施策名	住民自治の実現と地域の活力の維持	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり		
	主管課	魅力創造課	政策名	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり		
	施策関係課	政策推進課・総務課・都市経営課	課長名	西田昌樹	内線	233

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりを進めます。		町民 町に愛着や誇りを持ち関わる人	町に愛着や誇りを持ち、地域のために活動する				まちづくりに関わる人が増えることで地域の活力を維持する	
成果指標	説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
① 地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	38.3 (R3)	43.6				55.0
② 芽室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	94.3 (R3)	91.6				95.0
③ 芽室町に住み続けたいと思う町民の割合	住民意識調査	%	94.6 (R3)	92.7				95.0
④								
成果指標 設定の考え方	①前期目標値に達していないことから、同数値を設定した。 ②③基準値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。							

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費(千円)	265,192	218,183			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2023年度の成果評価 (前年度との比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	前年度と大きな差はない
②第5期総合計画 後期実施計画 (2026年度)の最終的な目標達成 状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠 (理由)	前年に比べ②③はポイントが下がったが、①(参加)は上がっていることから、このままの事業を発展継続しながら①のポイント上昇と、連動した②③の上昇を計れると考える。
(2) 施策の成果評価に対する2023年度事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献 度が高かった事務事業	町民活動支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献 度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	前年同様に町民活動を停滞することなく、個人・団体の活動に関する各種のサポート、町民からの声の聞き取り、まちづくり人財に重要なファシリテーター養成事業、さらには町民同士による意見交換の場の設定など、町民活動支援センターで町民の方の目線で実践した成果が大きい。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)

担当課 評価	成果指標それぞれのポイント上下、町内会の各種課題はあるものの、状況に合わせた様々な町民活動、活動支援を推進している観点から、「維持している」と判断する。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○

A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 人口減少社会を迎え、住民自治の重要性はますます高くなっているが、コロナ禍を経て個人の意識や考え方の多様化が進み、地域活動や集団活動を好まない人たちが増え、ますますその傾向に向かっている。</p> <p>《今後の予測》 住民主体による自治のまちづくりを進めるにあたり、住民自らのまちづくり活動を推し進めていく必要がある。このことにより、地域に対する愛着や誇りにつなげていく必要がある。</p>
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉館は地域活動の拠点として規模が小さくても必要ではないか。 →地域の方との意見交換、合意形成をしながら進めて行く。 ・町内会の役員のなり手不足、会員減少対策、各種負担金についてどうしていくのか。 →役員不足、会員減少については一律の改題解決方法がないが、各町内会のそれぞれの課題を聞き取りしながら、いろいろな手法を検討していきます。 ・人財育成事業は事業参加者が増えればよいということではなく、その先のまちづくりにつなげていくことが重要である。 →まちづくりにつながる人材の育成を視点に、その先の行動につながるようなきっかけ作り、働きかけをしていく。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の課題解決のため、市街地町内会連合会、単位町内会、町がしっかりと意見交換、協働して課題解決に取り組む。 ・町民活動をこれからも支援していくために、町民活動支援センターの安定した運営を維持していく。 ・町民参加のまちづくりを進めるために、ファシリテーターの養成を継続し、活動の組織化、継続できる仕組みづくりを目指す。 ・地域集会施設の再整備について地域との協議を継続して進める。 ・公共サービスパートナー制度の担い手が減っていることから、今後の在り方を検討する必要がある。

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、変わらない又は維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○

今後の取組に対する意見

5に記載の取り組みを進めてください。

A: 実現した
B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	個々の地域活動は活発であるが、町内会活動の課題は大きい。町内会加入率が上がってきていない状況を踏まえ、変わらない又は維持したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果					○

今後の取組に対する意見

- ・町内会は町づくりにとって大切な組織である。行政全体で意識する必要があり、政策的に踏み込んで進める必要があるのではないか。
- ・町内会に興味を持ってもらうきっかけとして、町内会入会で特典や更に役員特典もあればよい。
- ・住民自治や地域活動を行う上で、楽しくできる発想が大事である。

A: 実現した
B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した